

福部未来学園中だより

<http://www.torikyo.ed.jp/fukube-j/>

まことにひにあらたに ひにひにあらたに まだひにあらたに
荀 日新 日日新 又日新

「近くとも姿は見せず初音かな（飯岡良一）」
3月22日、校舎裏の雑木山に鶯の初音を聞きました。
昨日は東京にも桜の開花宣言がだされるなど、春本番がもう目の前まで来ているようです。童謡「春よ来い」の二番の歌詞が自然と口から流れ出ました。

♪ 春よ来い 早く来い
おうちのまえの 桃の木の
つぼみもみんな ふくらんで
はよ咲きたいと 待っている ♪



今年は、立春後の過酷な冬戻りが余計に春を待ちどうしくさせ、「はよ咲きたい、はよ咲きたい」と自然の万物も一層強い願いを持って春到来を待ちわびていたことでしょう。

冬の後には春が来る、始まりがあれば終わりも来る。これは自明の理です。

38年間勤めてきた教職人生も、この春で終止符を打つこととなりました。勤め切った達成感、逆に終わる寂寥感も今だ実感としてわいていません。あるのはこの福部の地で教職人生の最後を迎えることができた「有り難い」という感謝の思いです。

平成23年、鳥取市第10期校区審議会において統廃合を検討する緊急度Aの俎上に載ってから、平成28年4月20日、福部未来学園開校記念式典までの道のりを思い起こせば、よくぞこの短期間で幼・小・中一貫校設立まで持ってこられたものだと、今更ながら感慨ひとしおです。

物事が成就するためには、機運、人材、時代の要請が必須です。まさに「緊急度A」の逆境を好機ととらえ、福部に時の勢いが盛り上がり、国も小中一貫教育、コミュニティ・スクール推進を標榜。そして、何よりも「教育立村 福部」を大切にされ、「福部の子は 福部でしっかりと育てる」思いが地域住民の皆さんに共有されたために到達できた成果だと思っていますし、私を含め、学校・幼稚園に勤務する教職員が地域の機運や思いを感じ取り、同一の思いで取り組みを進めた成果でもあります。また、行政も一貫校設立への理解を以って、最大限の支援を行っていただいたことも忘れてはなりません。全てが一点に凝集され、誕生したのが我らの「福部未来学園」だということです。

「花鏡」伝書にある『初心忘るべからず』のごとく、福部の設立の志はいつまでも伝承していかなくてはなりません。また、学園も地域の志を具現化できる教育の中身づくりに研鑽を積みながら、改革精神をともなえて取り組みを行っていく必要があります。確かに、課題はありますが展望ある課題であり、夢と希望がその先に輝いて

いるはずですが。福部の特色を生かした、素晴らしい学園づくりを皆さんの力で一層進めさせていただきたいと願っています。

最後になりましたが、改めて保護者・地域の皆様に心から感謝を申し述べ、福部未来学園の更なる発展を祈念し、結びとさせていただきます。本当に有り難うございました。

福部未来学園中学校長 木村 正人

SMAP

「SMAP」といっても、昨年末惜しまれつつ解散したアイドルグループの名前ではありません。

1年半ほど前、学校の中堅となり活躍している先生方に、先輩として話をする機会をいただきました。その際にキーワードとして準備した4つの言葉の頭文字が、「S」「M」「A」「P」です。それぞれ「Smile（スマイル＝笑顔）」「Mission（ミッション＝使命感、理念）」「Action（アクション＝行動力）」「Passion（パッション＝情熱）」を意味します。

構想段階では、「ビジネス」や「スポーツ」などの世界で目標達成のキーワードとしてよく使われている「MAP（ミッション、アクション、パッション）」を挙げ、それに自分の経験などを織り交ぜながら話の流れを組み立てていました。

ある程度考えがまとまった段階で、「大先輩」である木村校長先生に助言をいただくことにしました。

ひと通り流れを聞いていただいた後、校長先生が一言・・・「教頭さん、もう一つ大事な言葉が抜けている。何だと思う。それは『笑顔』。教頭さんも大事にしているはず。」

その校長先生の一言で、冒頭に挙げた「SMAP」が誕生したのです。

振り返ってみると、この「福部未来学園」も、地域や保護者、学校、行政の「SMAP」が大きな原動力になり誕生したといっても過言ではありません。

学園歌の歌詞の2番にも次のような言葉があります。

♪ 福部の未来 「笑顔」にあふれ

心つながる学園に 大きな夢を 育もう♪

福部未来学園が開校して1年が経ちます。さらに1年後の平成30年度には、一体型校舎が完成し、幼小中の10年間で「つながる学園」になります。子どもたちの「夢（目標）」をしっかり育てることができるよう、この1年を振り返り、さらなる充実に向け、「SMAP」を大切にしていきたいと思えます。

福部未来学園中学校 教頭 長石 彰

本年度の人事異動で、次の6名が福部未来学園中学校を離れることとなりました。保護者の皆様、地域の皆様には大変お世話になりました。ありがとうございました。

お世話になりました



授業、部活動、学校行事、PTAや地域の行事など様々な場面を通して、多くの温かい方々に出会いました。少々難しいお願いでも、快く引き受けてくださる方ばかりでした。生徒たちには、「自分は自分の主人公」と同時に、主人公を陰で支える裏方や、応援する観客の方への感謝の気持ちを忘れないでほしいと思います。

杉田克己（英語科・1年主任）

去年初めての中学校勤務。高校で教育実習をした私は、久しぶりに中学生と関わりました。幼小中一貫校になった今年度。行ったり来たりしながら、園児、児童、生徒と関わる毎日は、日々新たな発見でした。何でもやってみることが大切です。これからの皆さんの活躍を楽しみにしています。

八木谷和葉（音楽科・3年担当）

国語の授業で、全学年の生徒に関わることができ、本当にうれしく思っています。授業もですが、休憩時間などでもたくさん話ができ楽しかったです。生徒のみなさんのキラキラとした瞳が好きでした。これからも、多くの方と出会い、そしてその出会いからたくさんを学んで大きく成長してほしいと思います。少し遠くからですが、見守っています。本当にありがとうございました。

前岡知子（国語科・1年担当）

皆さんは21世紀に生きています。今何が問題なのかを見つめ、考えていける人であってほしいと思います。その考えを他の人と意見交換し、発展させていってください。「私たちの力で21世紀を拓いていくんだ。」「鳥取を発展させていくのは私たちに任せてくれ。」と言える諸君であってください。

三谷敬一（美術科）

福部での出会いに感謝しています。福部の宝である子どもたちを地域で育てる温かな環境の中、子どもたちの成長を感じられることはとても幸せでした。ありがとうございました。生徒のみなさん、自分のことを律せる強さと、人のことを大切にできる優しさと、柔らかな思考で、福部未来学園の素敵な先輩になってくださいね。その為に自分の心と体を磨き遅くするのは自分自身です。一日一日を大切に過ごしてください。砂丘の反対側からみなさんの活躍を応援しています。



足立祥子（養護教諭）

福部で過ごした2年間、本当にあっという間でしたが、数え切れないほどの思い出ができました。みなさんの頑張る姿を近いところから見守り、サポートできたこと、とても嬉しく思います。これからも「自分に厳しく・他人に優しく」自分の夢に向かって頑張ってください。みなさんと離れるのは寂しいですが、またどこかで会える日を楽しみにしています。本当にありがとうございました。

山本佳奈（特別支援教育支援員）

4月の予定

日	曜日	行事	日	曜日	行事
7	金	着任式、始業式（要弁当）	18	火	全国学力・学習状況調査
8	土		19	水	3年修学旅行、1・2年家庭訪問
9	日	砂丘一言清掃	20	木	3年修学旅行、1・2年家庭訪問
10	月	入学式（要弁当）	21	金	3年修学旅行
11	火	オリエンテーション、交通安全教室 給食開始	22	土	参観日（要弁当） PTA総会、学年PTA
12	水	身体測定	23	日	
13	木		24	月	振替休業日
14	金		25	火	
15	土		26	水	内科検診
16	日		27	木	
17	月		28	金	心電図検査（1年）